

令和4年度 男女共同参画センター等の管理者との情報交換会

横浜市男女共同参画センター 事業概要

令和5年3月9日（木）

公益財団法人 横浜市男女共同参画推進協会

≫ 横浜市男女共同参画センター 3館と財団本部

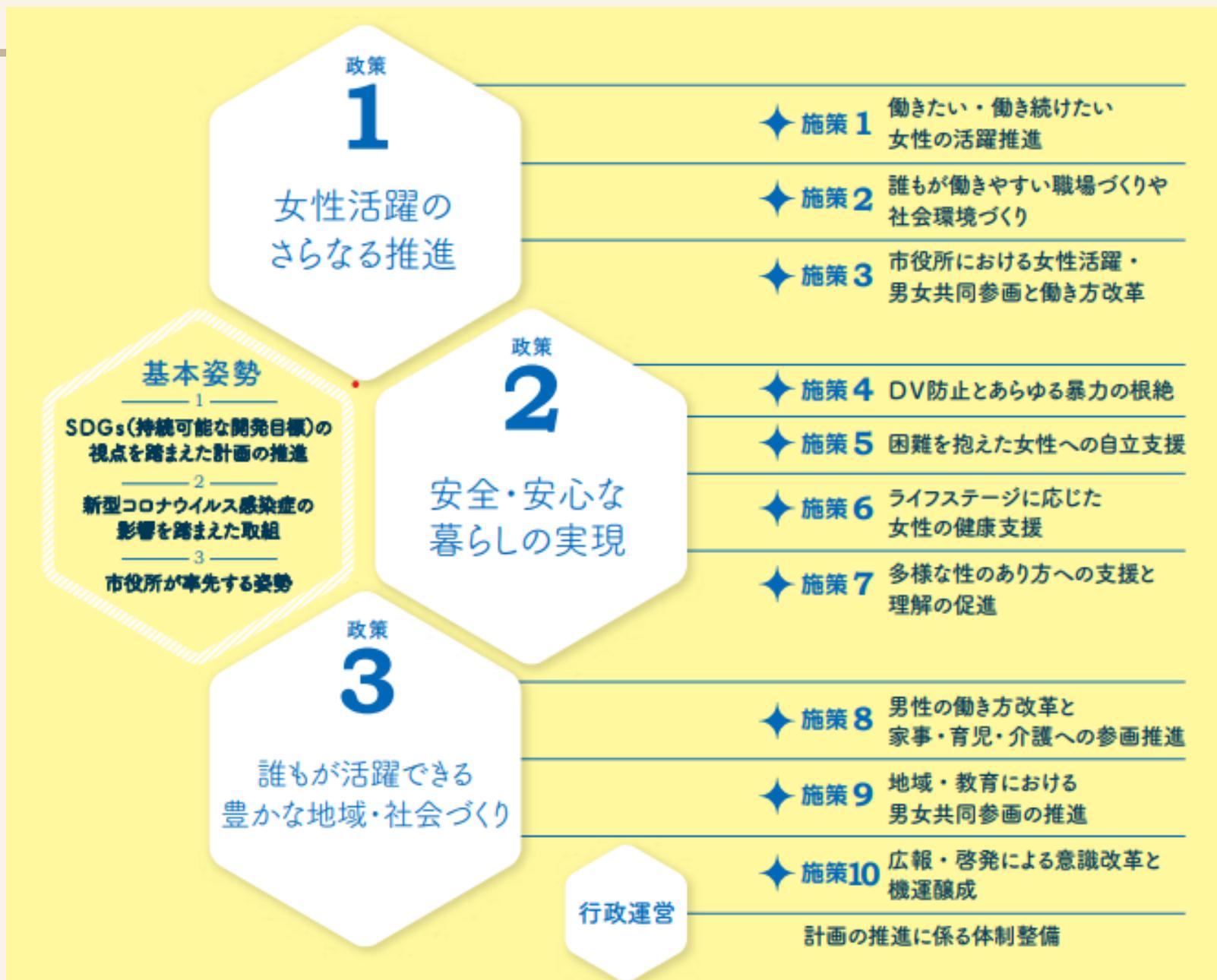


≫ 横浜市男女共同参画センターの位置づけ

- 横浜市男女共同参画推進条例（平成13年制定）
第11条に「男女共同参画推進拠点施設」として位置づけられている
- 市は男女参画推進条例第8条に基づき行動計画策定
国の男女共同参画社会基本法、DV防止法、女性活躍推進法に規定する
市町村基本計画→第5次横浜市男女共同参画行動計画（令和3年～7年度）

男女共同参画センターは行動計画に基づき、市民、団体、事業者等
多様な主体にむけて、市民生活に近い、活動と交流の拠点として、
具体的な事業を展開。

第5次横浜市男女共同参画行動計画



≫ センターの事業概要

1 情報事業（情報ライブラリ）

男女共同参画社会の形成に役立つ情報・資料の収集・提供

2 広報啓発事業

広報誌『フォーラム通信』発行、ホームページ・テーマ別サイト・SNS発信、職員講師派遣（ハラスメント防止、女性と防災ほか）

3 調査研究・事業開発事業

社会経済状況の変化を把握、多様な状況・ニーズに応じた事業開発

4 相談事業

心とからだと生き方の電話相談、面接相談、横浜市DV相談支援センター（一部機能）、自助グループ支援、性的な傷つきを体験した女性のセルフケアグループ

5 講座事業

(1) 女性の就業支援

再就職・転職支援（女性としごと応援デスク）
起業支援（女性起業UPルーム）、パソコン講座
若年無業女性支援、非正規職シングル女性支援
女性リーダー育成等

(2) ワーク・ライフ・バランス支援

(3) 心とからだのセルフケア

女性の生涯にわたる健康づくり体操教室
女性のための健康セミナー

(4) 女性への暴力防止と被害者支援

デートDV防止啓発出前講座、ライフプラン講座、女性のための心のケア講座

6 協働連携事業

NPO・市民グループ・企業・学校等との協働事業、一時保育、親子のひろば運営

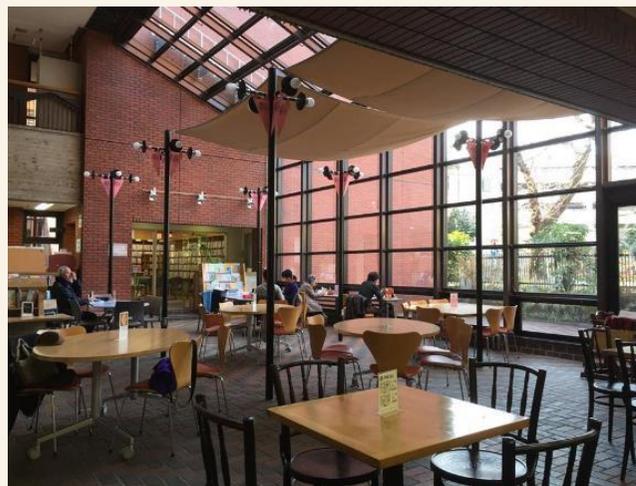
7 男女共同参画推進施設管理運営事業

≫ 横浜市男女共同参画センター 情報事業

- 3館の特徴や事業計画に合わせて、図書、資料を収集・提供
- 3館で約7万冊の蔵書。**独自分類**を採用
- 展示や資料リスト等で、男女共同参画やジェンダー平等に関わる情報を提供
- ふらっと来ても、居心地よいライブラリ



男女共同参画センター横浜
情報ライブラリ



男女共同参画センター横浜南
資料室



男女共同参画センター横浜北
交流ラウンジ

≫ 横浜市男女共同参画センター 調査研究・事業開発

● 「職場のハラスメント相談対応 研修教材開発」 (R3年度)

企業・団体向けに研修動画を制作、販売。

● 「横浜市外国人女性の生活状況調査」 (R3年度)

市内支援団体へのヒアリングを経て、外国につながる20代の女性へ生活課題に関するインタビュー調査を実施。

● 「就職氷河期世代非正規職シングル女性の就労支援に向けた調査及び事業開発」 (R2年度)

令和2年度地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用し、市から調査を受託。

34～49歳の働くシングル女性（正規・非正規）300人へのWEBアンケート調査及びインタビュー調査、市内企業20社へのインタビュー調査を実施

⇒令和3年度から協会事業本部にて、就職氷河期世代非正規職シングル女性
就活支援プログラム実施

≫ 横浜市男女共同参画センター 広報啓発事業

- ホームページやSNSによる情報発信
- 啓発誌「フォーラム通信」等の発行
年2回 14,000部、市内約500か所で配布
- 「あなたに届ける言葉のお守り」キャンペーン
令和3年3月8日国際女性デーにふさわしい著名人からのメッセージを、ポスターやしおりとして市内に配布。
令和4年3月に、言葉のお守りノートとして冊子にまとめ配布
- 3館での男女共同参画週間展示、イベントなど広く市民向けの広報活動を実施



≫ 横浜市男女共同参画センター 相談事業

●横浜市各所管部署と連携しながら、**相談センター**を運営

◆「心とからだと生き方の総合相談」

電話相談・面接相談、グループ相談 計2,650件

◆男女共同参画に関する人権侵害相談・申出制度

(横浜市男女共同参画推進条例第10条に基づく相談) 計101件

◆横浜市DV相談支援センター（機能の一部）

993件に対応。相談の約半数が土日祝日・夜間の対応

(すべて令和3年度実績)

●自助グループ支援を通じた多様な相談課題へのアプローチ

同じ悩みを抱える当事者が気持ちや体験、情報を分かち合う場として、自助ミーティングの運営を支援。

令和3年度は3館で46グループ、のべ約4400人がミーティングに参加



性的な傷つきを体験した女性のためのセルフケアグループを相談員が担当
令和元年には支援者向けセミナーも実施

≫ 横浜市男女共同参画センター 女性の就業支援事業

◆ 男女共同参画センター横浜

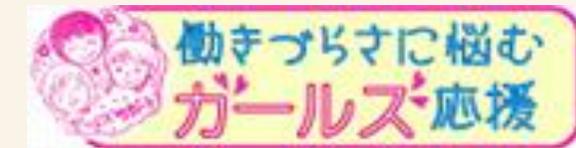
- ・ 起業を志す女性のスタートアップ支援
起業準備セミナー、起業準備相談



「女性起業家たまご塾」 修了生は約390人 起業家数は250人

◆ 男女共同参画センター横浜南

- ・ 若年無業女性（15～39歳）の社会的自立支援



「ガールズ編しごと準備講座」、社会参加体験、

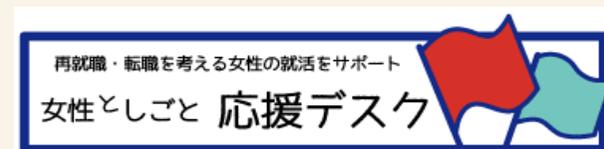
「めぐカフェ」就労体験



≫ 横浜市男女共同参画センター 女性の就業支援事業

◆男女共同参画センター横浜北

- ・女性の多様なキャリア・働き方を応援する総合相談窓口「**女性としごと応援デスク**」就活ナビゲーターによる相談（横浜北のみ常設）キャリア・カウンセリングと就労への1歩を踏み出すミニセミナーは3館で実施



キャリア・カウンセリング

◇再就職、継続就業に向けた実践的な事業

「女性のためのパソコン講座」（センター横浜）

令和3年度実績 年間全59講座（11コース）受講者数552人

◇市内企業・事業所向けの女性活躍推進の事業も

- ・プレリーダー層向けキャリアデザインプログラム
- ・女性部下をもつ管理職のためのマネジメントセミナー
- ・ハラスメント防止啓発セミナー

横浜市男女共同参画センター ワーク・ライフ・バランス支援事業

- 男女の仕事と子育ての両立支援、男性の子育て参画を中心にセミナーやイベントを実施
- 講座や施設利用者に保育を実施



「パパと遊ぼう
～オムツっ子も水遊び」



「はじめての保育園 in 横浜」



保育室は子育て支援NPO
と協働で運営。

》 横浜市男女共同参画センター 心とからだのセルフケア事業

- 女性の健康増進・健康課題に対応して、運動プログラムを実施
- 女性のためのがん手術後のプログラムや、産後、更年期など女性の生涯にわたる健康づくりをサポート



骨盤底筋体操



産後のセルフケア

≫ 横浜市男女共同参画センター 女性への暴力防止と被害者支援事業

- DV被害を体験した当事者への学びや情報を通じたサポート
- 若年世代に向けたDV予防への理解を広げる啓発の事業を展開

「女性のためのライフプラン講座～離婚にまつわる法律を学ぶ」

「女性のための心のケア講座～DV・モラハラ・トラウマを理解する」

「デートDV予防啓発出前ワークショップ」

市内中学、高校に出前する手法で、

デートDV防止啓発授業を実施

2,050人（令和3年度）の生徒が参加



≫ 横浜市男女共同参画センター 協働連携事業

- NPO・市民グループ、企業、学校、行政機関等、多様な主体と協働、連携

「公募型男女共同参画事業」

年に1度、男女共同参画を推進するための講座などの企画を募集
会場の提供や広報等を支援し、協働して実施

地域団体・NPO・行政・企業との連携

地域団体や関係機関とのネットワークを形成し、地域課題を共有

(例) 地域施設間連携促進事業、子どもの居場所づくりネットワーク
認知症のひとにやさしい街プロジェクト 等

≫ 地域、学校、企業、団体等へのアプローチ 男女共同参画のすそ野を広げるために

● 職員講師派遣

- ・ 男女共同参画の視点を活かした防災
(令和3年度 9団体 224人)
- ・ ハラスメント防止研修
(令和3年度 12社 476人)
- ・ 小学校～高校、大学等へも講師派遣



● 「理科っておもしろい！女の子だけの実験教室」

(企業協賛)

● 「ジェンダーとメディア表現」 (大学連携)



≫ 生理用品等の配布

●市の防災備蓄品の活用

横浜市防災備蓄品を活用して、センター3館で生理用品の無料配布を実施



●生理用品ハッピーギフト企画

- ・横浜市社会福祉協議会と連携
- ・寄付金を募集し、440人に繰り返し使用できる吸水ショーツを提供
- ・応募した女性に困りごとアンケート調査
- ・結果を報告書にまとめ、HPで公開

横浜市男女共同参画推進協会
横浜市社会福祉協議会

#生理の貧困

**生理関連用品
ハッピー
ギフトを
お届けします**

第2弾!

生理関連用品のサポートがほしいと感じている横浜の女性を対象に「サニタリー吸水ショーツ」を計250名様にお届けします

★申込フォームから応募ください
(希望者多数の場合は抽選)

応募メ切：1月25日 正午12時

≫ センター間の連携

● 3館の連携の手法

- ・ 管理職会議（月1回）
- ・ クラウド型グループウェアの活用
- ・ 研修講師養成 → 館・本部横断プロジェクト
 - ① ハラスメント防止
 - ② 男女共同参画の視点からの防災
- ・ 3館共通事業の事務局機能により、効率的に実施

情報共有／課題検討

事務局

センター横浜

相談事業／情報事業

企画公募事業

センター横浜南

自助グループ支援

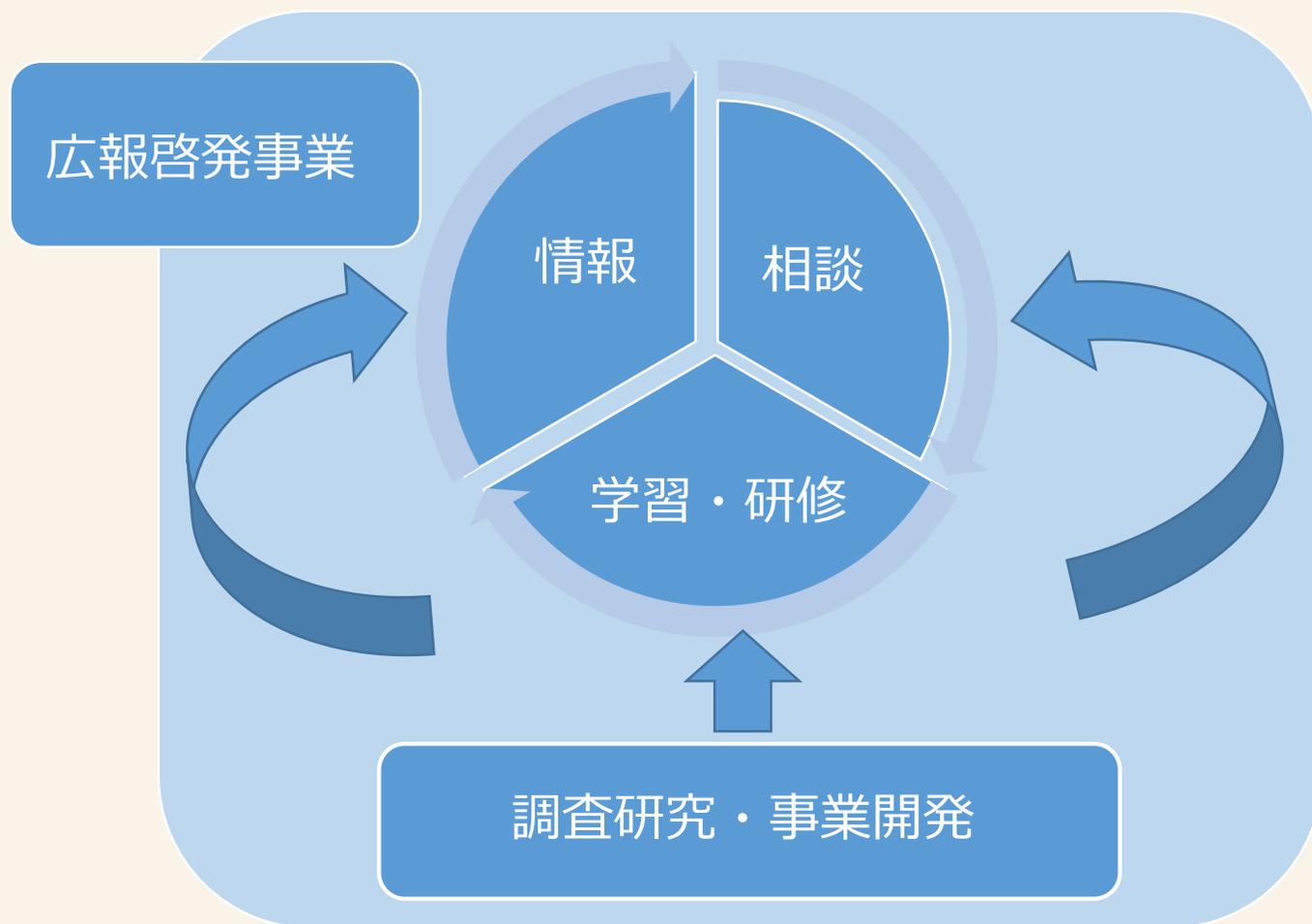
センター横浜北

女性としごと 応援デスク

一時保育

≫ 男女共同参画センターの機能と分野横断的な実態

- 「情報、相談、学習・研修の3つの機能」と「調査研究」「広報」
- 分野横断的であることの認識（就労・福祉・健康・教育等）



◆ 調査研究・事業開発
潜在的なニーズを掘り起こし、
調査研究により新たな社会課題を可視化してプログラム化
(半歩先を見据えた事業展開)

◆ 広報啓発
広く市民に向けて発信

≫ 事業評価・振り返り

●独自の自己評価システムにより継続的に事業の振り返り

<自己評価システムの流れ>



●利用者満足度の向上を目的に全事業でアンケート実施

●アウトカム視点での評価

ロジックモデル作成

定期的な講座修了者調査で、効果を検証・分析（女性の就労支援事業）

≫ 全職員を対象に事業評価・振り返り (R4年度新規の取組)



≫ 地域の事業型拠点施設としての男女共同参画センター

性別にとらわれず、誰もがいきいきと活躍できる社会をめざします

